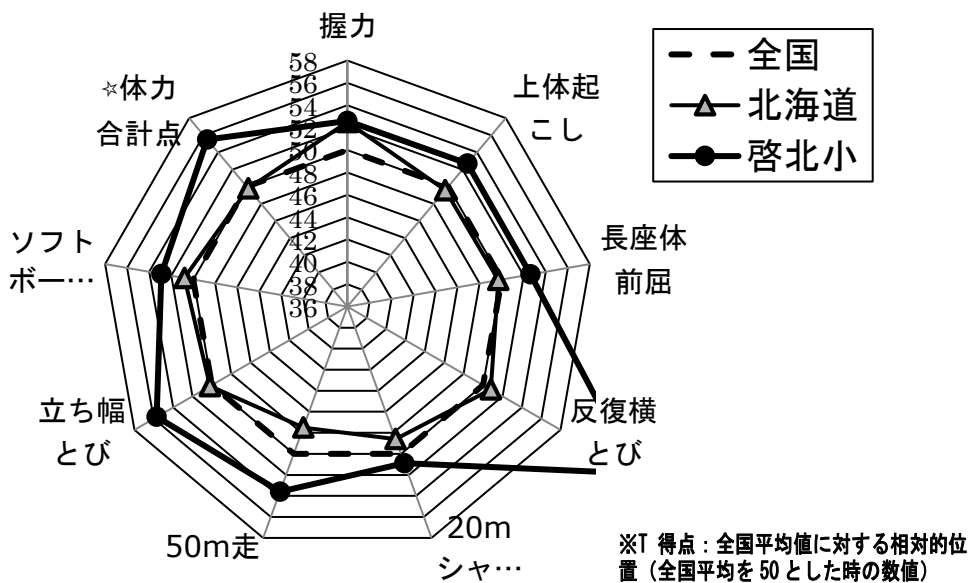


平成 29 年度 体力・運動能力調査結果より

スポーツ庁が 2 月に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、全国体力テスト）」の結果を公表しました。この全国体力テストは、「各学校が児童の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる」ことを目的に、平成 20 年度より小学 5 年生を対象に行われています。

調査の内容は、①実技に関する調査（「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20m シャトルラン」「50m 走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」と②質問紙調査です。結果の概要をお知らせいたします。

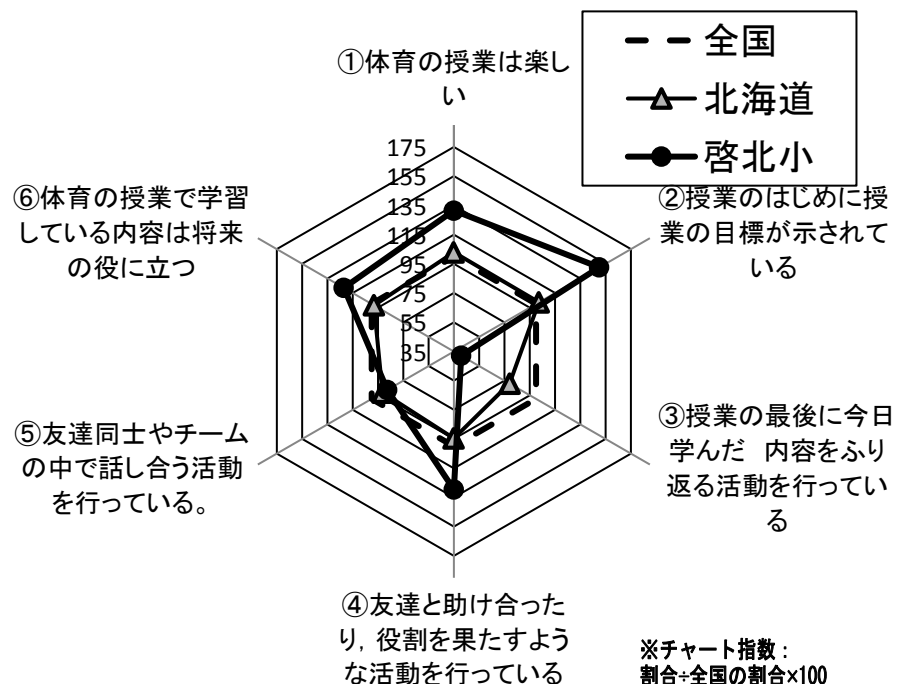
実技に関する調査結果【男子】



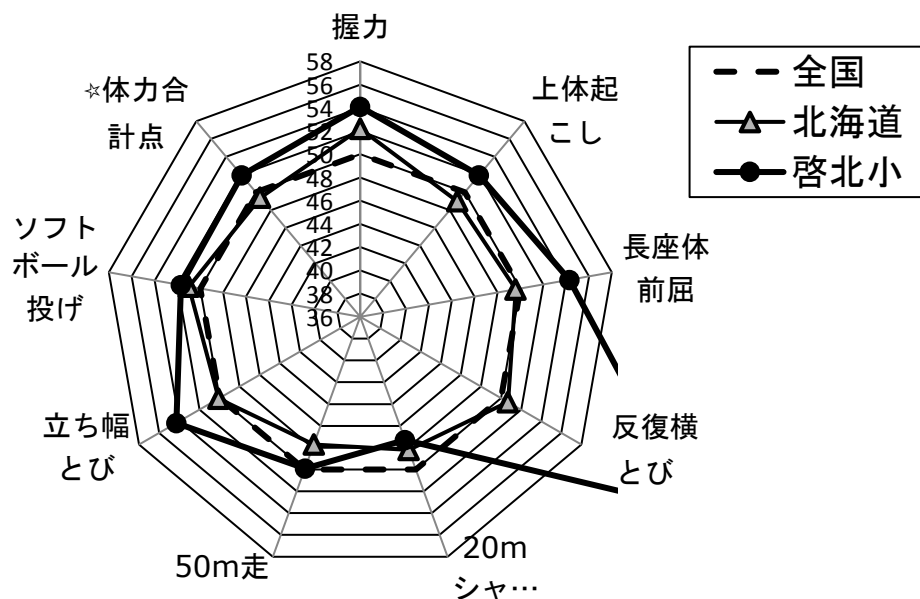
- 合計および全ての種目において、全国、北海道の平均を上回っています。
- 「反復横とび」において、大変高い値となっています。
- 昨年度、全国、北海道の平均を下回った「上体起こし」は、全国、北海道の平均を上回りました。

質問紙調査結果（体育の授業）【男子】

- 体育の授業は楽しい、授業のはじめの目標提示、友達と助け合うなどの項目で、大変高い値となっている。
- 体育の授業で学習している内容は、将来役に立つと考えている児童が多い。
- △授業の最後に、学んだ内容を振り返る活動を行っている、と感じている児童が少ない。



実技に関する調査結果【女子】

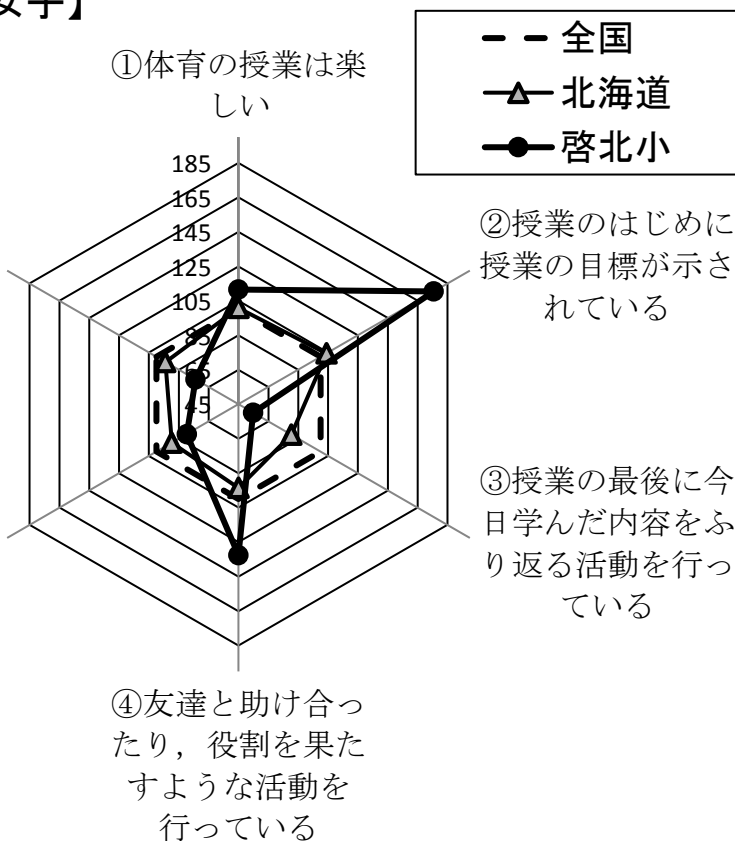


- 合計と6種目において、全国、北海道の平均を上回っています。
- 男子同様、「反復横とび」において、大変高い値となっています。
- △20mシャトルランは、全国、北海道の平均を下回った。

質問紙調査結果（体育の授業）【女子】

- 体育の授業は楽しい、授業のはじめの目標提示、友達と助け合うなどの項目で、大変高い値となっている。
- △体育の授業で学習している内容は、将来役に立つ、授業の最後に、学んだ内容を振り返る活動を行っている、と感じている児童が少ない。

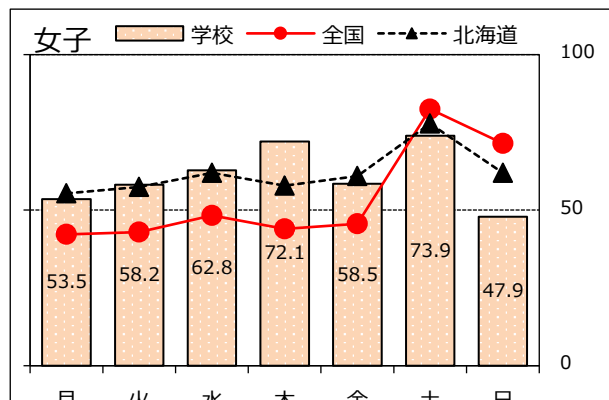
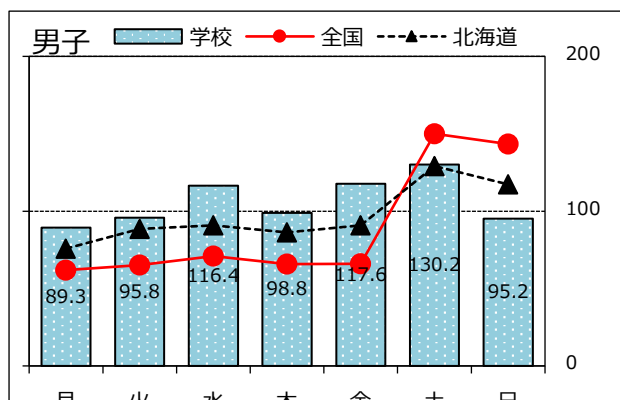
- ⑥体育の授業で学習している内容は将来の役に立つ
- ⑤友達同士やチームの中で話し合う活動を行っている。



※チャート指数：
割合÷全国の割合×100

質問紙調査（運動習慣・生活習慣にかかわって）

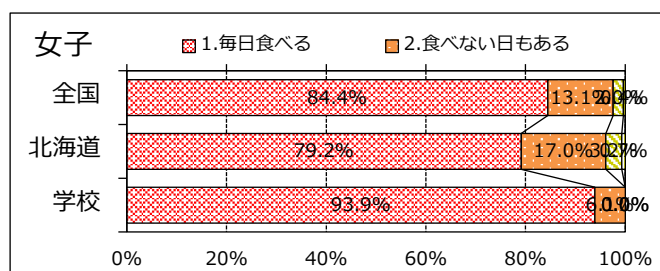
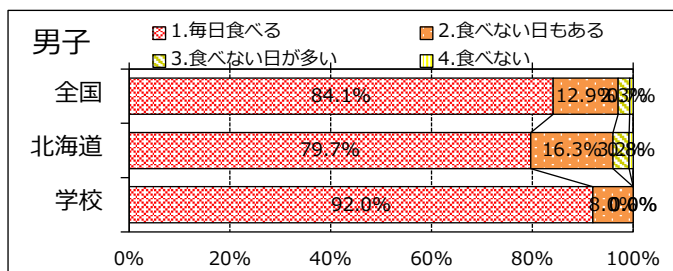
Q6.ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



○曜日によってばらつきはありますが、男女ともに、平日は全国・全道の平均と比べ、運動する時間が長い結果となっています。

△週末の土・日曜日は、全国・全道の平均よりも、短い時間となっています。

Q7.朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます）



○男女ともに、平日は全国・全道と比べ、朝食を毎日食べる児童が多い結果となっています。

今後に向けて

（学校では）運動に対する主体性を育て、課題の解決に取り組みます

今年度も、男女ともに、実技の合計点で、全国・北海道の平均を上回りました。児童会活動を通しての体を動かす遊び（児童の主体的な活動）や、日常の体育授業の充実（教師の指導方法の工夫改善等）の結果の表れと考えることができます。

今後も、子ども達が「体育の授業は楽しい」と感じ、「この学習の内容は、将来役に立つ」という見通しをもち、授業内容を振り返る場面を意図的に設け、「主体的に運動しようとする」（意欲）、それを支える「動ける体」（体力）を身に付けることができるように指導し、学校教育目標の一つである「心身共に健康な子ども」の育成を目指します。

（家庭では）積極的な運動・外遊び

今回の調査では、本校は週末の運動時間が短い結果となっています。

グラウンドの改修工事も終わりましたので、今後、遊具などを使って進んで運動したり、外遊びをしたりし、子ども達の気力、体力、学力を高めるのに必要な望ましい生活リズムづくりに努めていきたいと思います。